

## 地球温暖化対策に係る国の掲げる目標・提案

### 1. G8ハイリゲンドラム・サミットでの首相提案

<日時>平成19年6月6日から8日

<場所>G8ハイリゲンドラム・サミット

<概要>総理が戦略「美しい星 50」を提案

○「**世界全体の排出量を現状に比して 2050 年までに半減する**」という長期目標の提案

○ポスト京都に向けた3原則の提唱

- ① 主要排出国が全て参加し、世界全体での排出削減につながることを
- ② 各国の事情に配慮した柔軟かつ多様性のある枠組みとすること
- ③ 省エネなどの技術を活かし、環境保全と経済発展とを両立すること

○京都議定書の目標達成を確実にするため、国民運動の展開を表明

### 2. ダボス会議における首相による特別講演

<日時>平成20年1月25日から27日

<場所>世界経済フォーラム年次総会(通称「ダボス会議」)

<概要>総理が北海道洞爺湖サミットに向けた議長としての考え方やイニシアティブを表明

○「クールアース推進構想」を示し以下の3点を提案

(1) ポスト京都フレームワーク

・国連に**今後10年～20年で温室効果ガスのピークアウトと排出半減**の方策を至急検討するよう要請

・**セクター別アプローチによる国別総量目標**を掲げて取り組むことを表明

(2) 国際環境協力

・世界全体で、2020年までに30%のエネルギー効率の改善を目標とする。

・100億ドル規模の新たな資金メカニズム(クールアース・パートナーシップ)の構築を表明

(3) イノベーション

・革新的技術の開発(石炭火力発電所からのCO2排出をゼロ、低コスト太陽光発電技術等)

・今後5年間で300億ドル程度の資金を投入することを表明